

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

中央大学

林光洋ゼミ

BDS パート

21

部門番号

部門名

中小企業論

テーマ 零細事業支援

サブテーマ マイクロファイナンスにおける BDS の活用

趣意文

現在、途上国では貧困が社会問題になっている。この問題に対して、マイクロファイナンスによる貧困削減に注目が集まっている。マイクロファイナンスとは、貧困層を対象にした無担保の小口融資のことである。

私たちは研究の中で、マイクロファイナンスには、融資された貧困層の人々が資金の効率的な使用方法を知らないなどの課題があることがわかった。そこで、私たちはマイクロファイナンスの受益者に対し、Business Development Services (以下 BDS とする) の活用が重要であると考えた。BDS とは、中小企業及び零細企業への、市場への参入・成長・生き残り、生産性・競争力の向上などを促すための、金融支援を除いた様々なサービスの総称である。

フィリピンには、代表的な零細事業であるサリサリストアと呼ばれる小売店がある。サリサリストアは、日用品を販売し、フィリピン全土に約 81 万店存在する。私たちは、このサリサリストアを対象を絞り、サリサリストアのオーナーに対してマイクロファイナンスに加えて BDS を導入している機関のプロジェクトについて研究していく。

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

日本 大学 山本篤民 ゼミ 山本ゼミ B チーム パート

21

部門番号

部門名 中小企業論

テーマ 映画のデジタル化について

サブテーマ 減少するフィルム上映の現状

趣意文

昨今映画業界におけるデジタル化の流れが顕著である。フィルムでのプリントの場合、製作コストは大きくかかる。フィルムそのものも高いため、コストの差は歴然だ。しかし、今なおフィルムでの上映にこだわる映画館や、それを守るべきという声が絶えない。そこで、私たちは衰退するフィルム上映に焦点を当て、双方が共存するための経営方法を考える。

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

明治 大学 藤江昌嗣ゼミ 藤江ゼミナールD パート

21

部門番号

部門名 中小企業論

テーマ 中小企業による地方創生

サブテーマ 大企業ではなくなぜ中小企業なのか

趣意文

現在日本の企業の99%以上を中小企業が占めていると新聞やテレビでもよく耳にする。ゼミナール活動を通して、様々な規模や業種の中小企業を訪問し、地域に根差した姿を目の当たりにしてきた。そこで私たちのグループは中小企業によるさらなる地方創生の可能性を感じ、研究している。具体的には中小企業によって実際に地方活性のために行われている取り組み、どのようにして雇用を創出するか、大企業誘致や地域開発などの外からの振興との違いなどである。